

—今月の主題—

不整脈のハイライト (1)

〈対 談〉

不整脈患者の扱い方

石川 恭三・太田 怜 6

不整脈の理解に必要な電気生理の

知識 渡部 良夫 17

不整脈と電解質 宮下 英夫・他 22

〈不整脈の新しい診断法〉

His 束電位図 春見 建一 28

人工ペーシングによる overdrive

松尾 博司 32

〈刺激伝達異常に関する最近の考え方〉

房室ブロック 真島 三郎 36

脚ブロック 戸山 靖一・他 38

副伝導路 高木 誠 42

副伝導路の病理 (カラーグラフ)

岡田 了三 48

〈比較的難解な不整脈〉

Concealed A-V conduction

外畑 巖・他 53

Aberrant conduction

橋場 邦武 57

Supernormal conduction

五十嵐正男 60

Reciprocal beat

比江嶋一昌 64

〈不整脈に対する救急処置〉

発作性頻拍 中村 芳郎・他 68

リドカインの使い方 成沢 達郎 70

CCU における不整脈にどう対処す

るか 細田 瑠一 73

心臓手術後の不整脈

岩 喬・他 76

ジギタリス中毒の不整脈

田嶋 経躬・他 80

除細動器と人工ペースメーカー

(グラフ) 遠藤 真弘・他 85

今月の主題・理解のための 10 題

石川 恭三 82

胆道疾患—診療の実態 (2)

胆石症は増えているか

亀田 治男・他 158

胆石のでき方 中山 文夫 162

〈診断の実態〉

症状による鑑別 榎 哲夫 166

十二指腸液検査の価値 玉沢 佳巳 168

排泄性胆道造影法 有山 襄・他 171

経皮経肝胆道造影法 秀村 立五 174

内視鏡的胆道造影法 仲吉 昭夫 178

胆のう造影陰性例の取り扱い

勝田 紀男・他 184

〈警戒すべき胆石〉

黄疸と胆石 羽白 清 186

高齢者の胆石 小野 慶一・他 188

糖尿病と胆石 三浦 清美・他 192

〈胆石治療をめぐってトピックス〉

胆石溶解法 菅田 文夫 194

胆石症の手術適応 窪田 博吉 196

肝内胆石と治療 田島 芳雄 198

乳頭形成術の適応と方法

杉浦 光雄・他 200

〈胆のう炎・胆管炎の問題〉

抗生剤の使い方 松代 隆・他 204

急性胆のう炎の手術適応

穴沢 雄作 206

急性化膿性閉塞性胆管炎

菅原 克彦・他 208

〈胆のう癌と胆管癌〉

早期発見の可能性 大藤 正雄・他 212

胆石と胆のう癌の関係

水戸 勉郎・他 214

胆管癌の鑑別診断 宮崎 逸夫・他 216

胆管癌の根治手術 中山 和道 219

〈この病態をどう扱うか〉

胆道ジスキネジー 岩村健一郎 222

胆のう切除後症候群をめぐる病態

三樹 勝 226

コレステローシス 中澤 三郎 232

内胆汁瘻 高田 忠敬 234

Rokitanski-Aschoff 洞

秋田 八年・他 236

今月の主題・理解のための 10 題

羽生富士夫 238

〈カラーグラフ〉

胆石のいろいろ 亀田 治男 242

内科医に必要な末梢血管病変の知識 (3)

血管病変のトピックス

石川 浩一 310

血流の生理と病態 沖野 遙 312

〈主な血管病〉

閉塞性動脈疾患—急性 草場 昭 314

閉塞性動脈疾患—慢性 西村 昭男 316

動脈瘤 稲田 潔 320

機能性動脈疾患 恒川 謙吾 322

動脈脈瘤 阪口 周吉 324

閉塞性静脈疾患 古川 欽一 326

静脈瘤 田辺 達三 328

〈血管病変を起こしやすい疾患〉

糖尿病と末梢血管病変 石飛 幸三 330

膠原病 大橋 重信 332

ベーチェット病 橋本 喬史・他 334

マルファン症候群 井上 正 336

〈診 断〉

ベッドサイドでのみかた

三島 好雄 340

主な検査法 大原 到 344

血管撮影 (グラフ) 多田 祐輔 351

〈カラーグラフ〉

目でみる血管病 塩野谷恵彦 358

〈治 療〉

末梢動脈閉塞に対する保存療法

西島 早見 362

手術適応 和田 達雄 364

血行再建術 上野 明 366

〈座談会〉

末梢血管病患者の扱い方

勝村 達喜・大内 博

丸山 雄二・三島 好雄 370

今月の主題・理解のための 10 題

三島 好雄 378

腎不全の病態と治療 (4)

腎不全の概念 吉利 和 442

〈トピックス〉

Uremic toxins 山田多啓男 444

活性型ビタミンD 大原 恵一・他 446

〈腎不全の成因〉

急性腎不全の成因と予後

小出 桂三 450

糸球体腎炎の組織分類 (カラーグラフ)

三條 貞三 454

糸球体腎炎の病型と予後

三條 貞三 458

DIC と急性腎不全 安部 英 460

糖尿病と腎不全 土屋 尚義 462

〈代謝面からみた病態〉

糖代謝 中川成之輔・他 464

脂質代謝 和田 光夫 467

アミノ酸代謝 川口 俊介・他 470

酸塩基平衡 浦壁 重治・他 472

カルシウム代謝 大野 丞二・他 474

〈臓器面からみた臨床像〉

中枢神経 菅原 正・他 476

尿毒症性末梢神経障害

北岡 建樹 478

高血圧 藤見 惺 480

心臓炎 黒田 満彦 482

貧血 野村 武夫 484

出血 青木 延雄 486

内分泌機能 長谷川弘一・他 488

免疫機能 伊東 義一・他 492

〈小児と高齢者の腎不全〉

小児 伊藤 拓・他 494

高齢者 古山 隆 496

〈治 療〉

抗生剤の使い方 斎藤 篤 498

食事療法 三村 信英 500

透析療法の現況と将来 平沢 由平 502

家庭透析の現況と対策

上田 泰・他 506

透析患者の管理 酒井 糾 509

移植の現況と将来 太田 和夫 513

〈座談会〉

腎不全における治療の現状と問題点

三村 信英・平沢 由平

越川 昭三 516

今月の主題・理解のための 10 題

越川 昭三 526

痛みとその対策 (5)

痛みの成り立ちと対策

清原 迪夫 594

〈痛みの生理〉

頭痛 喜多村孝一 598

腹痛 亀田 治男 602

心臓痛 内田 康美 604

関節痛 玉川 鐵雄 609

皮膚・筋肉痛	梅原 忠雄	612	わが国の有機じん肺	梅田 博道	806	重野 幸次	1050	
〈本意のはっきりしない痛み〉			わが国の無機じん肺			二木 立	1054	
神 経 痛	佐々木智也	614	瀬良 好澄・他	808	合併症とその対策	大槻 剛智	1056	
頭部・顔面痛	土井 一可・他	616	〈Systemic lung disease〉		異常歩行と歩行訓練			
肩 甲 痛	石田 肇	620	わが国における肺サルコイドーシス		窪田 俊夫・他	1058		
腰 背 痛	西 新助	622	細田 裕	811	上肢の訓練	柴田 澄江	1060	
月 経 痛	我妻 堯	624	血液・リンパ系疾患	堀内 篤	日常動作 (A. D. L.) の訓練			
上 肢 痛	松本 淳	626	腎 不 全	近藤 有好・他	816	佐直 信彦・他	1063	
下 肢 痛	桜田 允也・他	628	膠原 病	重松 信昭・他	819	言語障害とその治療	福井 園彦	1066
精神科的な痛み	柏木 哲夫	632	〈座談会〉		リスクとその対策	土肥 豊	1068	
〈薬の使い方〉			肺のびまん性陰影をめぐって		排尿障害とその管理	三島 博信	1070	
麻 薬	藤田 達士	634	一肺線維症を中心に	三上理一郎	手術と神経ブロック	千野 直一	1072	
非麻薬性鎮痛剤の功罪	渡辺 敏	636	滝沢 敬夫・金上 晴夫	824	薬物療法の意義	岸 久博	1074	
解熱性鎮痛剤	本間 光夫	638	今月の主題・理解のための 10 題		〈諸種神経疾患のリハビリテーション〉			
緩和鎮痛剤	景山 孝正	640	金上 晴夫	832	小脳性失調症	平方 義信	1078	
〈鎮痛療法の適応と効果〉			内科疾患としての先天性代謝異常 (7)		脊 髄 疾 患	野島 元雄	1080	
ブロック療法	藤原 孝憲	643	病気としての先天性代謝異常		筋萎縮性疾患	大川 嗣雄	1082	
手術的療法	吉井 信夫	646	山村 雄一	906	〈心筋梗塞のリハビリテーション〉			
経皮的電気刺激法	坪川 孝志	649	代謝異常の遺伝的調節	柳瀬 敏幸	初期のリハビリテーション	紅露 恒男・他	1084	
針(鍼)療法	鈴木 太	652	〈高脂血症をみたとき〉		回復期のリハビリテーション	戸嶋 裕徳	1088	
リハビリテーションとその留意点	間 得之	654	診断のすすめ方	中村 治雄	社会復帰上の注意とその成績	日野原重明	1090	
心 理 療 法	河野 慶三・他	657	その成り立ち	関本 博・他				
〈疼痛への対処〉			治療のすすめ方	大平 誠一・他	〈その他〉			
術 後 痛	美馬 昂・他	660	〈高血圧をみたとき〉		慢性閉塞性肺疾患のリハビリテーシ	〇ン	古賀 良平	1093
癌 末 期	橘 直矢	664	診断のすすめ方	吉永 馨	体位排痰法	谷本 普一・他	1096	
帯 状 疱 疹	菅井 直介・他	666	治療のすすめ方	増山 善明	慢性関節リウマチのリハビリテーシ	〇ン	佐々木智也・他	1098
〈グラフ〉			〈体質性黄疸をみたとき〉		〈グラフ・カラーグラフ〉			
経路の実際	芹澤 勝助・他	668	その成り立ち	滝野 辰郎・他	理学療法の実際	荻島 秀男・松村 秩	1100	
			診断と治療	島田 宜浩	片麻痺のための装具	渡辺 英夫	1106	
			〈溶血性貧血をみたとき〉		作業療法の実際	木村 信子	1110	
			その成り立ち	三輪 史朗	今月の主題・理解のための 10 題	上田 敏	1114	
			診断と治療	山口 潜	リンパ組織の基礎と臨床 (9)			
			〈高尿酸血症をみたとき〉		リンパ節の構造と構成細胞	小島 瑞・他	1186	
			その成り立ち	有馬 正高	リンパ球と臨床	天木 一太	1188	
			診断と治療	有馬 正高	〈リンパ球の基礎〉			
			〈知っておきたいその他の代謝異常〉		胸腺とリンパ球の分化	玉置 憲一	1192	
			ウイルソン病	清水 盈行	T cell と B cell	矢田 純一	1194	
			ヘモクロマトーシス	白石 忠雄	リンパ球, 形質細胞の免疫グロブリ	ン産生	濱島 義博・他	1198
			フェニールケトン尿症	北川 照男	リンパ球と自己免疫	大藤 真・他	1202	
			糖 原 病	葛谷 健	〈診断のすすめ方〉			
			リビドーシス	宮武 正	リンパ節腫脹	谷本 一夫・他	1206	
			ポルフィリン症	佐々木英夫	リンパ節腫瘍	栗田 宗次	1208	
			薬理遺伝病	和田 攻	免疫不全症候群	吉川 弓夫	1210	
			〈カラーグラフ・グラフ〉		〈検査 カラーグラフ・グラフ〉			
			先天性代謝異常の皮膚所見	三浦 修	リンパ節生検像	三方 淳男	1213	
			先天性代謝異常の病理所見	浦野 順文	リンパ節の細胞診	北見 翼・他	1213	
			今月の主題・理解のための 10 題	葛谷 健	リンパ球の表面 marker	関沢 剛・他	1218	
			知っておきたいリハビリテーションの		造血器腫瘍細胞の膜性状	下山 正徳	1218	
			技術 (8)		腹腔内のマクロファージとリンパ球			
			思想としてのリハビリテーション	砂原 茂一				
			技術としてのリハビリテーション	上田 敏				
			〈脳卒中のリハビリテーション〉					
			リハビリテーションのすすめ方	横山 巖				
			片麻痺のとらえ方	江藤 文夫				
			初期のリハビリテーション					

リンパ球機能検査	太田 宏・他	1219
Lymphography	小石 敏興・他	1220
＜リンパ組織の主な病変＞	池永 達雄・他	1225
反応性リンパ節腫脹	木村 郁郎・他	1230
Hodgkin 病	下山 正徳	1235
Non-Hodgkin リンパ腫の分類	若狭 治毅・他	1242
表面マーカーよりみたリンパ性白血病	内山 卓・他	1244
単一クローン性免疫グロブリン異常症	河合 忠	1247
Immunoblastic lymphadenopathy	西成田 進・他	1250
細網内皮症と Hairy cell leukemia	柴田 昭	1254
胸腺腫と胸腺腫を伴う疾患	土屋 雅春	1256
＜治療＞		
悪性リンパ腫の治療	坂井 保信	1258
免疫抑制療法	漆崎 一朗	1264
＜座談会＞		
リンパ球とリンパ組織	天木 一太・河合 忠	
	若狭 治毅・下山 正徳	1266
今月の主題・理解のための 10 題	天木 一太	1274
アルコール性障害のトピックス (10)		
アルコール中毒症における臓器障害の位置づけ	小片 基	1342
アルコールの代謝とその生体に及ぼす影響	石井 裕正	1344
＜臓器障害、なぜ起こるか＞		
肝 臓	高田 昭	1348
胃 と 腸	田中三千雄・他	1350
脾 臓	小田 正幸・他	1352
脳・神経・筋	古和 久幸	1354
循環器—アルコールの急性毒性および慢性毒性の発生機序	南 勝・他	1356
造 血 器	高橋 隆一	1359
免疫機能—アルコール中毒者を中心に	土屋 雅春・他	1362
＜アルコールと代謝異常＞		
水・電解質代謝	庵 政志	1364
糖 質 代 謝	尾林 紀雄・他	1366
蛋白代謝	平山 千里・他	1368
脂 質 代 謝	武藤 泰敏	1370
＜カラーグラフ＞		
アルコール性肝障害の病理所見	岩村健一郎	1374
＜アルコール性疾患診断のポイント＞		
アルコール性心筋症	小出 直	1377
アルコール性肝炎	伊藤 進	1378
アルコール性多発神経炎	祖父江逸郎	1380
アルコール性脳症	朝長 正徳	1382
Zieve 症候群	高橋善弥太	1384
＜治療の問題点＞		
アルコール性肝障害	上野 幸久	1386

糖尿病とアルコール	伊東 三夫	1388
アルコール性膵炎	小島 国次	1390
アルコール症の治療	河野 裕明・他	1392
大酒家への薬剤投与	重田 洋介・他	1396
今月の主題・理解のための 10 題	石井 裕正	1398
電解質異常のすべて (11)		
目でみる水・電解質バランス	河合 忠	1472
＜座談会＞		
電解質異常と臨床	前田 貞亮	
	小椋 陽介・加藤 咲一	1477
＜電解質異常をみたとき＞		
ナトリウム異常	湯浅 繁一・他	1486
高カリウム異常	猿田 享男	1490
低カリウム異常	木村 時久・他	1492
クロール異常	東 徹	1494
マグネシウム異常	吉田 政彦・他	1496
カルシウム異常	藤田 拓男	1498
＜電解質異常と pH＞		
Acidosis	越川 昭三	1501
Alkalosis	杉野 信博・他	1504
＜グラフ＞		
検体の取り扱いかたと測定法	石井 暢	1507
＜どんな電解質異常が起こるか＞		
嘔吐・下痢	飯田 喜俊	1514
肝性昏睡	涌井 和夫	1518
浮 腫	伊東 貞三	1520
腎 不 全	大森 伯・他	1522
糖 尿 病	繁田 幸男・他	1524
ADH 異常	吉田 尚	1526
二次性高血圧	小沢 幸雄	1528
肺性脳症	福井 俊夫	1530
周期性四肢麻痺	木下 真男	1532
電解質異常を起こす薬剤	清水 直容	1534
＜電解質異常の対策＞		
輸液療法の原則	柴垣 昌功	1536
熱 傷	村松 正久・他	1538
昏 睡	飯野 耕三	1540
術後電解質代謝異常	早坂 滉・他	1542
人工透析と電解質異常	中川成之輔・他	1546
GIK	宮下 英夫・他	1548
今月の主題・理解のための 10 題	加藤 咲一・他	1550
ミオパチー最近の進歩 (13)		
ミオパチー最近の進歩	里吉啓二郎	2082
ミオパチーの分類	清水 輝夫・他	2085
＜ミオパチーを疑うとき＞		
ベッドサイドのみかた	荒木 淑郎	2088
臨 床 検 査	高木 昭夫	2090
＜グラフ・カラーグラフ＞		

光頭レベルでわかること	佐藤 猛	2094
微細構造の変化	三田 哲司	2097
筋電図でわかること	高橋 和郎	2102
＜筋ジストロフィー＞		
伴性劣性型筋ジストロフィー症	福山 幸夫・他	2105
顔面・肩胛・上腕型と肢帯型筋ジストロフィー症	川井 尚臣・他	2108
特殊な筋ジストロフィー症	小口喜三夫・他	2111
＜先天性ミオパチー＞		
ネマリンミオパチー	鈴木 雅人	2114
セントラルコア病	田辺 等	2116
ミオチューブラールミオパチー	室 隆雄	2121
＜周期性四肢麻痺＞		
低カリウム血症	古和 久幸	2124
正および高カリウム血症	朝長 正徳	2125
＜多組織性疾患＞		
Kearns-Shy 症候群	木下 真男	2126
筋強直性筋ジストロフィー症	佐藤 元・他	2128
＜先天性代謝異常＞		
脂質代謝異常	橋本 清	2131
糖質代謝異常	後藤 幾生	2134
Luft 病・その他	瀬川 昌也	2138
＜全身性疾患によるミオパチー＞		
甲状腺異常	納 光弘・他	2141
副腎皮質異常	植田 啓嗣・他	2144
悪 性 腫 瘍	本多 虔夫	2146
＜自己免疫疾患＞		
重症筋無力症	宇尾野公義	2148
多発性筋炎	高柳 哲也	2151
その他の膠原病	安倍 達	2154
＜ミオパチーの治療＞		
ステロイドとミオパチー	庄司 進一	2156
ビタミンDの有効なミオパチー	松尾 宣武	2158
筋強直症の治療	飯田 光男	2160
ミオパチーのリハビリテーション	岡崎 隆	2162
今月の主題・理解のための 10 題	木下 真男	2166
演習・X線診断学		
(1)～(6)/熊倉 賢二・他		
食道および胃のルーチン検査 (1)		101
胃の精密検査 (2)		247
胃の変形および胃辺縁の変形 (3)		382
二重造影法について (4)		569
圧迫法について (5)		679
食道のX線検査について (6)		835
(7)～(13)/吉川 保雄・他		
変形からみた十二指腸潰瘍のX線診断 (7)		974
小腸のX線診断(その1) (8)		1117
小腸のX線診断(その2) (9)		1278
大腸のX線診断(その1) (10)		1401
大腸のX線診断(その2) (11)		1554
大腸のX線診断(その3) (13)		2170

心臓病診断へのアプローチ(鼎談)

／石川 恭三・広木 忠行

前田 如矢

問診の価値	(4)	562
Palpitation (動悸)	(5)	726
Chest pain (胸痛)	(6)	882
呼吸困難	(7)	1018
浮腫・チアノーゼ	(8)	1162
その他の心徴候	(9)	1318

心疾患の治療・今日の考え方(鼎談)

／広木 忠行・前田 如矢

石川 恭三

心不全	(11)	1594
狭心症	(13)	2212

medicina CPC・medicina CC

四肢筋力の低下, 眼瞼下垂, 頭痛などを訴え, 胸部X線にて左肺門部に異常陰影をみた59歳主婦の例		
明石陽三郎・本多 虔夫		
田中 淑子・宇野野公義		
田崎 義昭	(2)	259
両設関節痛と四肢の脱力を訴えた32歳, 主婦の例		
宮本 正浩・高橋 唯郎		
折茂 肇・小沢 安則		
飯野 史郎	(5)	735
乏尿・吐血・発熱を主訴とし, 急激な転帰をとった52歳, 家婦の例		
小沢 安則・中川成之輔		
青柳 昭雄・岡安 大仁		
田崎 義昭	(10)	1435

診断基準とその使い方

劇症肝炎	太田 康幸 (1)	109
赤血球酵素欠乏症と異常症		
三輪 史朗 (1)	113	
von Willebrand 病		
風間 睦美 (2)	270	
慢性肝炎	市田 文弘・他 (3)	389
肺サルコイドーシス		
新津 泰孝 (3)	392	
肝 癌	遠藤 康夫 (4)	530
バーチェット病診断基準試案	吉田 勉夫 (4)	534
慢性脾炎の診断基準		
小田 正幸・他 (5)	689	
胆嚢摘出後困難症		
佐藤 寿雄・他 (5)	692	
強皮症	菅原 光雄 (6)	845
大動脈炎症候群	伊藤 巖 (6)	848
慢性甲状腺炎		
宮本 正浩・他 (7)	981	
胆道ジスキネジー		
玉沢 佳巳 (8)	1126	
多発性筋炎, 皮膚筋炎		
里吉富二郎 (8)	1130	
脾 癌	山形 敬一・他 (9)	1286
自己免疫性溶血性貧血		
恒松徳五郎 (10)	1410	
Sick Sinus Syndrome		
加藤 和三・他 (11)	1561	

肺性心 前田 如矢 (11) 1564

サルコイドーシス

泉 孝英・他 (13) 2178

臨床病理医はこう読む

血液ガス分析／井川 幸雄	(3)	(1)	124
	(4)	(2)	284
酵素検査／玄番 昭夫			
1. LDH と LDH アイソエンザイム	(3)	400	
2. アルカリ性フォスファターゼ	(4)	540	
3. GOT と GPT	(5)	702	
4. γ -グルタミルトランスペプチダーゼ (γ -GTP)	(6)	856	

電解質異常／毛利 昌史

1. 血清カリウム	(7)	992
2. 低 Na 血症	(8)	1136
3. 高カリウム血症	(9)	1294
ホルモン異常／屋形 稔		
1. 甲状腺機能低下症	(10)	1418
2. クッシング症候群	(11)	1572
3. シーハン症候群	(13)	2188

図解病態のしくみ

炎症のしくみ／水島 裕		
5. 炎症と抗炎症剤	(1)	126
6. 炎症, 感染, アレルギー	(2)	280
肝炎慢性化の機序／亀谷麒与隆・他	(1)	398
	(2)	536

消化管ホルモン／石森 章

1. ガストリン代謝	(5)	696
2. コレチストキニン・パンクレオザイミン (CCK-PZ) 代謝	(6)	852
3. セクレチン代謝	(7)	986
4. VIP 代謝	(8)	1132
5. GIP 代謝	(9)	1290
6. エンテログルカゴン代謝	(10)	1414

パセドウ病における甲状腺機能亢進

症の原因	永田 格・他 (11)	1568
パセドウ病とは	永田 格 (13)	2184

新薬の使い分け

新しい抗結核薬 Tuberactinomycin と Rifampicin	岩崎 龍郎 (1)	128
重症感染症に対する新しい抗生剤の使い分け	富岡 一 (2)	282
新しい降圧剤の使い方		
青木 久三 (3)	395	
経口糖尿病薬	堀内 光 (4)	538
心不全のときの利尿剤の使い分け		
関 清・矢吹 壮 (5)	698	
外来における鎮痛・消炎剤の使い分け		
塩川 優一 (6)	854	
貧血一原因別による薬剤の使い分け		
高橋 隆一 (7)	988	
頑固な咳に対する薬剤の使い分け		

長野 準 (8) 1134

長期にわたってひどい下痢が続くと

中野 貞生 (9) 1292

脳卒中に対する薬剤の使い分け

海老原進一郎 (10) 1416

狭心症に対する β ブロッカーの使い

方 博 定 (11) 1570

慢性肝炎で薬を投与する場合

太田 康幸 (13) 2186

ECG 読解のポイント

／(コメント: 太田 怜)

歩行時の息苦しさを主訴とする53歳女性の例	森杉 昌彦 (1)	121
発作的に起こる動悸を主訴とする57歳女性の例	知久 祝康 (2)	274
心房細動と労作時の動悸, 息切れおよび浮腫を呈した50歳男性の例	山田 辰一 (3)	410
チアノーゼのある4歳男児の例	中尾 聡子 (4)	546
前胸痛を訴えた患者		
原 健一 (5)	708	
発作性頻拍をきたした63歳男子の例	金井 美津 (6)	872
ST 上昇を示した狭心症		
桂 忍 (7)	1002	

左上胸部および喉部に発作性の圧迫

感を訴えた57歳男子の例

中本 弘 (8) 1146

四肢麻痺で来院した25歳男性の例

乾 達 (9) 1304

心筋梗塞と思われるが, ST 上昇が

一時的であった

植木 一義 (10) 1424

感染症罹患後に心筋炎をきたしたと

思われる一例

吉田 澄彦 (11) 1578

軽度心窩部痛のみを訴えた72歳

男子の例

赤司 俊雄 (13) 2198

外来診療・ここが聞きたい・(対談)

持続性の顕微鏡的血尿		
三條 貞三・西崎 統 (1)	118	
軽度の下肢のむくみおよび起床時の		
指のこわばり	同 上 (2)	278
夜間の激しい頭痛		
本多 虔夫・西崎 統 (3)	406	
両手先のしびれ感	同 上 (4)	549
下腹部の膨満感および不快感		
名尾 良憲・西崎 統 (5)	712	
長期間続く軽度の GOT・GPT 異常		
同 上 (6)	868	
持続する血中アミラーゼの高値		
土屋 雅春・西崎 統 (7)	998	
ビリルビンは正常でアルカリフォス		
ファターゼだけ高い		
同 上 (8)	1142	
発作性咳嗽		
田中 元一・西崎 統 (9)	1300	
肺線維症を疑わせる動悸, 息切れ		
同 上 (10)	1426	
一過性のめまい		

石川 中・西崎 統 (11)	1586
胸痛・動悸で不安状態が続く例	
同上 (13)	2194
皮膚病変と内科疾患／三浦 修	
胼胝または皮膚硬化を主徴とする皮膚病変と内科疾患 (1)	138
休 載 (2)	
皮膚の増殖性病変と内的異常 (1)	(3) 404
(2)	(4) 544
“発疹としての萎縮”を主徴とする皮膚疾患 (5)	706
発疹としての萎縮を伴う萎縮性皮膚病変と内科疾患 (6)	860
瘰癧または局面形成を主徴とする皮膚病変と内科疾患 (7)	996
1) 浮腫および／または硬結, 2) 膿瘍を主徴とする皮膚病変と内科疾患 (8)	1140
体部異形または非相称と内的異常 (1)	(9) 1298
(2)	(10) 1422
1) 常皮膚知覚障害または2) 皮膚腺分泌異常と内科疾患 (11)	1576
毛または爪の異常と内的病変 (13)	2192
小児と隣接領域	
他科の診療を必要とするとき	
眼 科 巷野 悟郎 (1)	136
耳 鼻 科 植村 恭夫 (2)	286
小児期に問題となる重要な尿路系疾患 大田黒和生 (4)	542
小児期に問題となる主要な性器系疾患 大田黒和生 (5)	704
婦 人 科 植村 次雄 (6)	858
小児整形外科 村上 宝久 (7)	994
小児外科／角田 昭夫	
1. 嘔 吐 (8)	1138
2. 腹 痛 (9)	1296
3. 消化管出血 (10)	1420
4. 腹部腫瘍, 黄疽 (11)	1574
小児歯科 1. う蝕と咬合 菊池 進 (13)	2190
開業医学入門／柴田 一郎	
新しく内科を開業する人のために (1)	131
開業医の診る発熱性疾患 (2)	288
意外に多い甲状腺疾患 (1) (3)	413
(2) (4)	552
転医について	
1. 病院に入院させるとき (5)	716
2. 入院を要しない場合 (6)	862
外来における高血圧について (7)	1008
老人の診療について (1) (8)	1150
(2) (9)	1308
“かぜ”のこじれ (10)	1430
薬剤について思うこと (11)	1582
私と医学書 (13)	2201
内科専門医を志す人に・トレーニング3題	

三條 貞三・河田 肇	
岡安 大仁 (1)	93
本多 虔夫・村上 義次	
日下部恒輔 (2)	253
村中日出夫・宮崎 元滋	
日下部恒輔 (3)	417
安部井 徹・宮崎 元滋	
村中日出夫 (4)	557
原 耕平・安永幸二郎	
村中日出夫 (5)	721
恒松徳五郎・藤森 一平	
涌井 和夫 (6)	877
前田 如矢・宮崎 元滋	
安部井 徹 (7)	1013
藤森 一平・前田 如矢	
原 耕平 (8)	1157
安部井 徹・藤原 恒夫	
安永幸二郎 (9)	1313
涌井 和夫・安永幸二郎	
前田 如矢 (10)	1447
繁田 幸男・石本二見男	
前田 如矢 (11)	1589
永江 和久・柴田 昭	
石本二見男 (13)	2209
内科専門医を志す人に・私のプロトコール	
革島 恒徳・梅村 康順 (1)	97
同 上 (2)	256
同 上 (3)	420
同 上 (4)	560
同 上 (5)	724
同 上 (6)	880
瀬古 敬・宮蘭千代子 (7)	1016
同 上 (8)	1160
村山 正昭・森川 景子 (9)	1316
同 上 (10)	1450
田中 亮一・高橋 唯郎 (11)	1592
同 上 (13)	2207
診療相談室	
爪における黒褐色の色素沈着 三浦 修 (1)	134
oxyhyperglycemia とその鑑別 鈴木 快輔 (1)	135
「前リウマチ熱状態」と考えてよい 入交昭一郎 (2)	245
肺癌に対する最近の免疫化学療法について 木村 郁郎 (2)	246
飛蚊症について 湖崎 弘 (3)	422
特発性心筋症の治療 鷹津 正 (3)	423
急性、慢性脾炎の診断基準について 内藤 聖二 (4)	580
労働衛生コンサルタントについて 高田 島 (5)	734
出血性膀胱炎と腎炎との鑑別診断について 斎藤 豊一 (6)	866
ペニシリンアレルギーの既往ある患者に AMPC は勝るか 勝 正孝 (6)	866
EKG における高血圧性心臓病、狭心症、冠不全の違い	

村山 正博 (6)	867
脳浮腫に対するステロイド治療 海老原進一郎 (7)	1006
血液ガス分析データの解釈をめぐって 岡安 大仁 (7)	1007
冠不全に対するジギトキシン、ヘルベッサ、その他の処置 前田 如矢 (8)	1154
脚ブロック例にみられる頻発性期外収縮に対する抗不整脈剤 広木 忠行 (8)	1155
甲状腺機能亢進症と Al-p 高値 満間 照典 (8)	1156
Small heart syndrome の診断と治療 高尾 篤良 (13)	2206
Cyclopedia medicina	
喫煙と心臓病 林 明德 (1)	149
Impedance pletysmography 吉良 枝郎 (1)	149
Local panatropy 古川 哲雄 (1)	151
Trench ulcer 鎌田 武信 (2)	301
白血球細胞と RNA dependent DNA polymerase 高久 史磨 (2)	301
Sipple 症候群 藤本 吉秀 (2)	303
抗大動脈抗体 齊藤 嘉美 (2)	303
コロニー形成刺激因子 (CSF) 柚木 一雄 (3)	433
hereditary pancreatitis 竹内 正 (3)	433
顆粒球輸血 湯浅 晋治 (3)	435
流行性耳下腺炎の神経障害 関 享 (3)	435
HPL 河合 忠 (4)	585
Null Cell 橘 武彦 (4)	585
塩基性ミエリン蛋白 水野 美邦 (4)	587
リボ蛋白欠損を伴う神経疾患 武内 望 (4)	587
Pendred 症候群 飯野 史郎 (5)	753
Intestinal Behçet 病 馬場 正三 (5)	753
MCLS 加藤 裕久 (5)	755
Bartter 症候群と Pseudo-Bartter 症候群 河野 剛 (5)	755
FDP の radioimmunoassay 漆崎 一朗 (6)	897
Somatostatin と Somatostatin 鎮目 和夫 (6)	897
心臓液貯溜と心エコー図 林 輝美 (6)	899
Lennox syndrome 扇谷 明 (6)	899
インスリン自己免疫症候群 平田 幸正 (7)	1029
Colitis Cystica Profunda 武藤徹一郎 (7)	1029
restless leg syndrome 小出 桂三 (7)	1031
高カロチン血症に伴う神経症状	

HLA とバセドウ病	福田 真二 (7) 1031
ラッサ熱	鈴木 秀郎 (8) 1177
白血球の収縮性蛋白	小張 一峰 (8) 1177
Polyamine	巽 典之 (8) 1179
多発性硬化症とウイルス感染	仁田 正和 (8) 1179
Schwartz-Bartter 症候群	井形 昭弘 (9) 1333
Uracil-specific Anti-RNA	吉田 尚 (9) 1333
Leriche syndrome	菅原 光雄 (9) 1335
Nelson 症候群	古瀬 彰 (9) 1335
Diogenes syndrome	井林 博 (10) 1461
カルニチン低下症	平井 俊策 (10) 1461
無脾症候群	木下 真男 (10) 1463
Kuru	長井 靖夫 (10) 1463
レーザー・ビームによる消化管出血の治療	白木 博次 (11) 1609
家族性大腸ポリポージスの上部消化管病変	竹本 忠良 (11) 1609
カプセル法食道擦過細胞診	牛尾 恭輔 (11) 1611
	鍋谷 欣市 (11) 1611

全身こむら返り病	里吉啓二郎 (13) 2229
lymphostatic diseases	関 清 (13) 2229
Scrapie	小柳 新策 (13) 2231
オンコセルカ症	保坂 明郎 (13) 2231
オスラー博士の生涯／日野原重明	
オスラーの学外活動と英国医学への接近	(1) 141
オスラーの健康・公衆衛生重視の思想と患者へのいたわり	(2) 293
講演「25年後に」(その1)	(3) 425
(その2)	(4) 577
オスラーの平静 (Aequanimitas) の動揺	(5) 745
卒後教育について	(6) 889
休 載	(7)
1900年の英国での夏休みと秋の活動	(8) 1169
病院のあり方と図書館の意義	(9) 1325
講演「19世紀の医学の進歩」	(10) 1453
オスラーのとった自然な教育法、そして夏の旅行	(11) 1601
腸チフス、結核対策にとり組む	(13) 2217

私の失敗例・忘れられない患者	
岡崎 禮治・金井 美津	
青井 立夫・渡辺 亮 (1) 145	
藤森 岳夫・金井 美津	
阿部 精一 (2) 297	
藤森 岳夫・若松 英男	
笹村 義一・伊藤 清昭 (3) 428	
茂戸 良・笹村 義一	
渡辺 亮 (4) 582	
古田 穰治・山田 辰一	
笹村 義一 (5) 749	
笹村 義一・宮崎 邦介 (6) 893	
二階堂 昇・相沢 豊三	
渡辺 武 (7) 1025	
澤田藤一郎・塩谷 裕	
星崎 東明 (8) 1173	
畑尾 正彦・岩崎 栄	
佐藤 安正 (9) 1328	
石垣 四郎・笹村 義一 (10) 1456	
佐藤 哲・渡辺 亮 (11) 1604	
樋渡 喜一 (13) 2220	

話 題

糖尿病学会関東甲信越地方会	
池田 義雄 (5) 597	
第13回国際内科学会	
前田 如矢 (11) 1513	

臨床医による臨床医のための内科総合雑誌

内科雑誌

medicina

Vol.13 No.12

臨時増刊特集号

日常役立つ診療技術 1976 年版

■ 主要内容

診断篇

目的に応じた採血法 消化器系疾患の診断技術
循環器系疾患の診断技術 呼吸器系疾患の診断技術
縦隔検査法 泌尿器系疾患の診断技術 血液
・造血器疾患の診断技術 中枢神経系疾患の診断
技術 運動器系疾患の診断技術 アレルギー・免
疫疾患の診断技術 皮膚に関する診断技術 内視
鏡とそれによる生検 アイソトープ診断技術 脈
管造影法 超音波診断法

治療篇

非経口栄養 胸水・腹水・心包液・浮腫液の除去
心拍停止に対する処置 D Cショックの取り扱い
気胸に対する処置 窒息に対する処置 酸素
療法 呼吸の人工管理 尿道留置カテーテルと膀
胱洗浄 食道静脈瘤破裂時に用いる三方チューブ
輸血 輸液 腹膜および血液透析 抗癌剤の持
続動脈注入法 アイソトープ治療の実施と施行時
の注射 アイソトープ使用に関する法律

付録

ME機器の安全管理 内視鏡器具の消毒法

■ B 5 頁464 ¥3,200 円200



医学書院

〒113-91 東京・文京・本郷5-24-3 ☎東京(03)811-1101 振替東京7-96693